

第504回 IBC番組審議会

1. 開催 日時 平成17年11月24日(木)午前11時
2. 開催 場所 デジタルセンター3F Dホール
3. 委員の出席
- | | |
|---------|-------------|
| 委員総数 | 11名 |
| 出席委員数 | 6名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 吉沢 正則 |
| 委員 | 阿部 价男 熊谷志衣子 |
| | 小松 務 米谷 春夫 |
| | 矢佐 俊幸 |
| 欠席委員の氏名 | 高橋 健悦 田代 高章 |
| | 澤口たまみ 中原 志郎 |
| | 宮澤 徳雄 |
- 会社側出席者
- | | |
|-------|-----------|
| 小西 隆昭 | 代表取締役社長 |
| 川島 敬司 | 常務取締役 |
| 柴田 継家 | 報道局長 |
| 川上 隆 | ラジオセンター長 |
| 鎌田 英樹 | テレビ編成局長 |
| 中村 好子 | 制作部ディレクター |
- 事務局
- | | |
|-------|------------|
| 金谷 保彦 | 番組審議会事務局長 |
| 小笠原 勉 | 番組審議会事務局次長 |
4. 議題 テレビ番組『生きる×2』
～氷口御祝、東京へ行く～

5 . 議事の概要

< 委員の主な発言 >

- ・唄そのものが、男の唄と女の唄がぶつかり合っやるとするのは稀です。遠野のような身近な所に、このような唄があることを知らなかった。中学生たちに教えて、継承していく努力も素晴らしい。唄の由来や歴史を具体的に紹介してもらえればもっと良かった。
- ・東京へ出発する日の、朝の音楽がとてもぴったりでした。不安な気持ち、東京に行く浮き浮きする気持ちが表現されたいいメロディでした。
- ・東京の人の感想、地方の小さな集落の祝い唄を聴いて、どういう反応があったのかということに興味があった。それも盛り込んでいけばもっと幅が広がったのではないか。
- ・最後のシーンでリーダーの菊池さんが「精一杯働いて、精一杯唄って、みんなでいろいろ成し遂げていく。一人で生きているのではなく、結束して生きていくんですよ」と言ったことが大変印象に残りました。
- ・岩手の郷土芸能が過疎の地域で、子供たちへ伝えていくことがいかに難しいかを表している。まさに岩手の悩みをうまく紹介した番組だと思って感心しました。

< 社側 >

- ・お祝いの唄は全国にありますが、「氷口御祝」のように別々に独立した唄を合わせるとするのは、知っている限りでは氷口が唯一、ちゃんと歌える形で残っていると思います。
- ・時間的な制約もあり、御祝のルーツを追いかけすぎると袋小路に入ってしまうと思い、今回は歌い継いでいる人たちの絆を中心に描ければ、と思い制作しました。